

生ごみのひと絞りモニター制度

調査報告書

平成28年10月

熊谷市環境部環境推進課

目次

1 本調査の概要	2
1-1 調査の目的	2
1-2 調査フロー	3
2 . ひと絞り器具による減量効果	4
2-1 使用した器具について	4
2-2 調査内容等	4
2-3 調査結果について	5
3 生ごみのひと絞りによる減量効果に関する調査	7
3-1 アンケート調査	7
4 総括	17
4-1 調査結果より	17
4-2 今後の課題等	17

1 本調査の概要

1-1 調査の目的

現在、ごみ処理には多大な経費がかけられており、これを削減する最も有効な手段としてごみの減量化がある。特に生ごみに関しては、そのまま排出すると重量の約 80%を水分が占めており、多くの水をごみとして運び、処理していることになる。

一方、家庭で水切りを行うと、重量が減少したとの報告がある。これらを検証するため本市では、平成 28 年 7 月より市内の世帯からモニターを募り、9 月末までを期限に生ごみのひと絞りを実践、結果を報告していただいた。

今回、各世帯からの報告結果の集計を行い、結果の分析により、生ごみのひと絞りの減量効果や効果的な普及啓発方法の検討を行うことを目的とする。

1-2 調査フロー

本調査の検討内容は以下に示すとおりであり、調査検討フローは図1-1に示すとおりとなる。

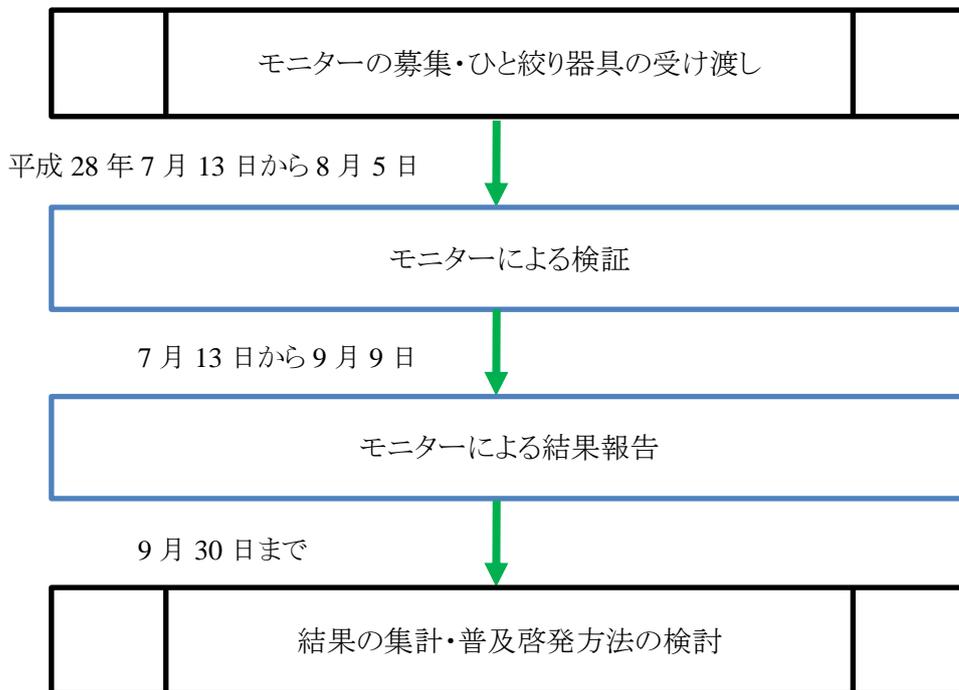
(1) 生ごみのひと絞りによる減量効果に関する検討

モニター各世帯へひと絞り前後の重さを記入する調査票と、ひと絞り器具等に関するアンケートを実施した。

(2) 普及啓発方法に関する検討

アンケート結果を基に、効果的な普及啓発方法について検討した。

【図 1-1】



2 ひと絞り器具による減量効果

2-1 使用した器具について

今回の調査において本市からモニターに配布、使用した生ごみのひと絞り器具は、以下の3点である。その他、既に独自に取り組んでいるひと絞り等がある場合はその方法等について調査を依頼した。

	①	②	③
器具の名称	水切りダイエット	しぼりっ子	水切り袋
主な使用方法	① 水切りストッキングの持ち手を筒の間に通して引っ張る。 ② 三角コーナー内にある生ごみに円上の部分を押しつける。	シンクの壁等に押しつける。(器具の下部に穴があり、水を排出)	袋の口から折り畳み絞る。(器具の側面および下部に穴があり、水を排出)
器具イメージ			

④独自の方法

- ・手絞り(水切りネット、ビニール袋やポリ袋の底に穴を開ける)
- ・ダンボールコンポスト
- ・乾燥(水切り袋ごと別トレイへ移し放置、天日干し)
- ・不織布へ押しつける
- ・野菜の水切り器を用いた遠心力による水切り
- ・新聞紙に水分を吸わせる

2-2 調査内容等

(1)調査期間

各器具でそれぞれ7日分。

独自に行っているひと絞り方法があればその方法も同じく7日分。

(2)調査内容

ひと絞り前後の重さを量り、調査票に記載の内容物についてチェックを付ける。

備考欄を設け、気づいた点や内容物の補足事項を書き込む。

2-3 調査結果について

調査票回収状況 66 世帯／75 世帯(回収率 88%) (10 月 1 日時点)

(1) 調査回数について

1 日に 1 回以上、最大 4 回まで記入できる書式としており、各器具で下記の様な結果となった。なお、変更前の記載がないケースは減量の効果についての計算が出来ないため、調査回数から除いた。

器具名	延べ調査回数(回)
水切りダイエツト	655
しぼりっ子	571
水切り袋	545
独自の方法	317
合計	2,088

(2) 重さについて

(1) 同様、変更前の記載がないものを除いた全調査回数の各器具のひと絞り前後の重さは下記のとおりである。

器具名	絞り前(g)	絞り後(g)	減少値(g)
水切りダイエツト	209,097	191,442	17,655
しぼりっ子	202,571	188,121	14,450
水切り袋	209,788	193,465	16,323
独自の方法	106,864	95,438	11,426
合計	728,320	668,466	59,854

(3) 一回あたりの減少量、および減少率について

(1) および(2)の集計結果より、各器具における一回あたりの減少量と減少率は下記のとおりである。

器具名	減少量(g)	減少率(%)
水切りダイエツト	27	8
しぼりっ子	25	7
水切り袋	30	8
独自の方法	36	11
合計	29	8

(4-1) 内容物からみる各器具の水切り効果について

調査票において、お茶がら、コーヒーかす、果物の皮、野菜くず、残飯、その他の6項目から、含まれるものにチェックをつけていただいた。

複数含まれるケースは含有率まで把握していないため、重複してカウントを行った。結果、各器具における水切り効果は下記のとおりである。

器具名 内容物	水切りダイエット		しぼりっ子		水切り袋		独自の方法	
	回数 (回)	減少量 (g)	回数 (回)	減少量 (g)	回数 (回)	減少量 (g)	回数 (回)	減少量 (g)
お茶がら	332	7,571	310	5,889	253	5,454	171	6,809
コーヒーかす	115	2,837	96	1,851	77	2,066	42	2,052
果物の皮	366	12,646	305	10,585	281	11,769	167	7,034
野菜くず	498	14,562	444	12,880	392	12,912	232	9,304
残飯	183	6,245	181	5,573	178	8,610	79	3,037
その他	83	1,260	66	750	59	1,501	41	1,387

(4-2) 内容物毎の減量効果について

(4-1)の集計結果より、内容物毎に各器具における一回あたりの水切り効果をみると下記のとおりである

	水切りダイエット(g)	しぼりっ子(g)	水切り袋(g)	独自の方法(g)	平均(g)
お茶がら	23	19	22	40	24
コーヒーかす	25	19	27	49	27
果物の皮	35	35	42	42	38
野菜くず	29	29	33	40	32
残飯	34	31	48	38	38
その他	15	11	25	34	20

3. 生ごみのひと絞りによる減量効果に関する調査

3-1 アンケート調査

(1) アンケート調査の概要

①アンケート回収状況 66世帯/75世帯(回収率88%)(10月1日時点)

②アンケート項目

Q1: 家族構成について

⇒①10歳未満、②10歳代、③20歳代、④30歳代、⑤40歳代、⑥50歳代、⑦60歳代、⑧70歳以上、以上8項目について人数を記入。

Q2: 生ごみのひと絞り等について

⇒①行っていた、②行っていなかった、以上2項目から選択。なお、①を選んだ場合は、年数についても記入。

Q3: (Q2で①を選んだ方のみ) どういった方法で行っていましたか？

⇒①三角コーナー、②排水かご(シンク備え付け)、③水切りネット、④新聞紙などに吸わせる、⑤その他、以上5項目から複数回答ありで記入。なお、⑤を選んだ場合は、内容についても記入。

Q4: 生ごみの処分方法について

⇒①可燃ごみ、②コンポストなどで堆肥化、③その他、以上3項目から複数回答ありで記入。なお、③を選んだ場合は、内容についても記入。

Q5: 生ごみ絞り器(3種類)の使用感について

⇒①水切りの性能について、②器具の使いやすさについて、③良かったと思う器具、以上3項目について、①および②については、器具毎に「良い・普通・悪い」から選択し、感想等を自由記述。③については、3つの器具の中から一つを選択し、理由を自由記述。

Q6: 生ごみのひと絞りで効果があったと思われることについて

⇒①ごみが軽くなった、②ごみの量が減った、③生ごみの臭いが少なくなった、④小バエなどの虫が減った、⑤ごみ袋の汚水が気にならなくなった、⑥ごみの減量に関心を持った、⑦その他、以上7項目から複数回答ありで記入。なお、⑦を選んだ場合は、内容についても記入。

Q7: 生ごみのひと絞りや減量について、アイデアや意見など

⇒自由記述。

Q8: 今回本市が配布した生ごみ絞り器以外に使用している器具等が有れば、その使い勝手についての感想。

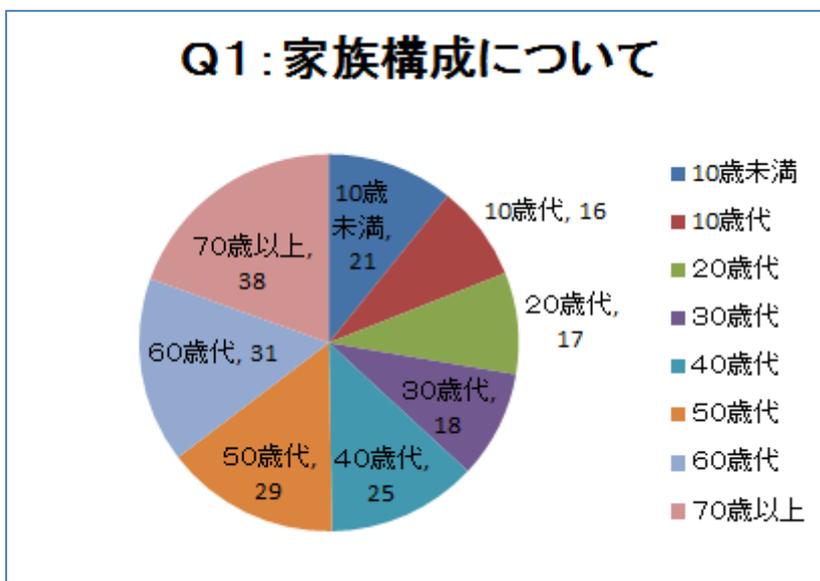
⇒自由記述。

Q9: モニター終了後も「生ごみのひと絞り」を実施するか。

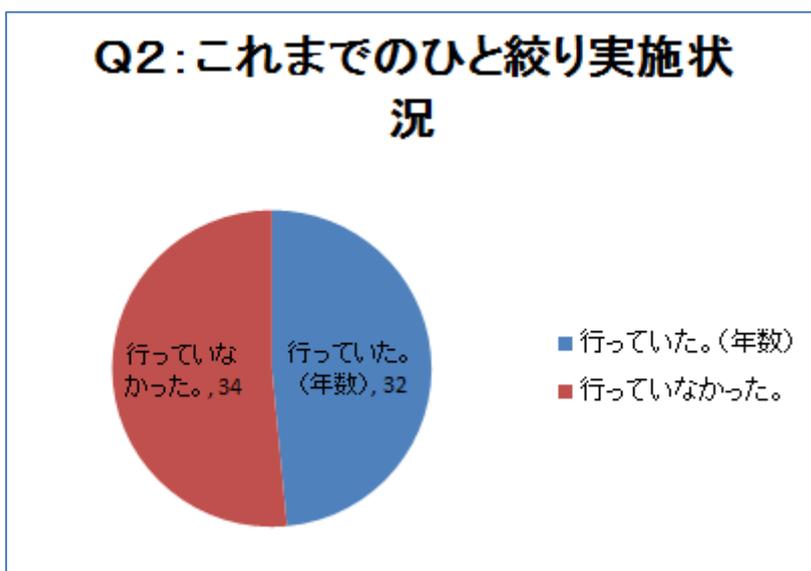
⇒①実施する、②実施しない、以上2項目から選択。なお、②を選んだ場合は、理由についても記入。

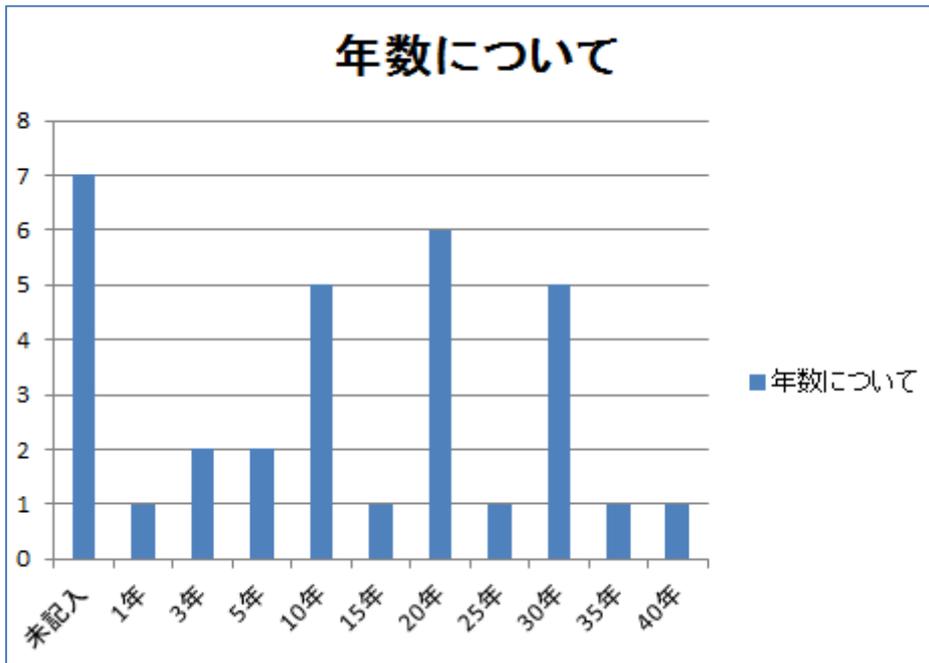
(2) アンケート調査結果

Q1: 家族構成について

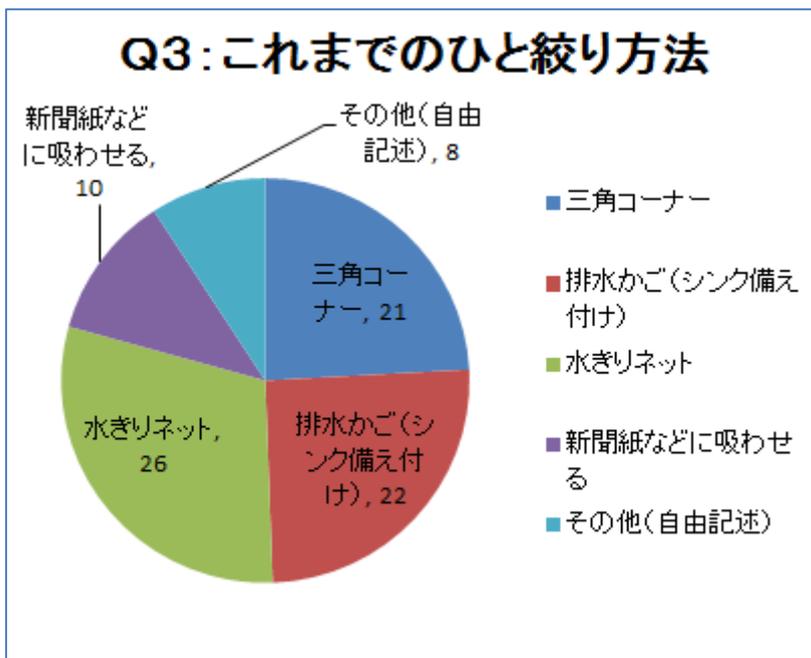


Q2: 生ごみのひと絞り等について





Q3: (Q2で「行っていた。」を選んだ方のみ) どういった方法で行っていましたか？

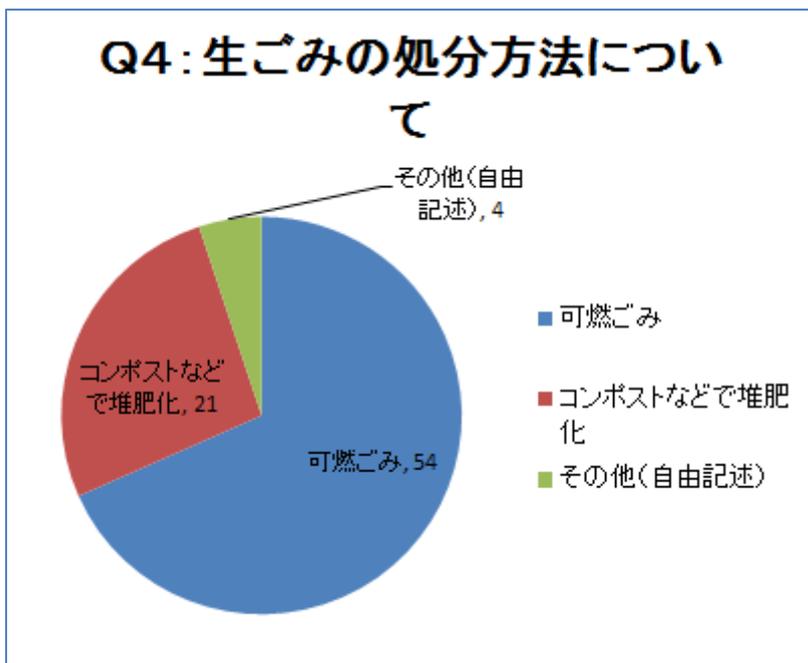


●その他について

- ・コンポスト・畑。
- ・ひと絞りしてごみパック(チラシ等の不要な紙で作成)に入れ、それをビニール袋に入れて可燃ごみに出す。
- ・素手で絞る。
- ・水に極力つけないようにしています。

- ・ベランダに干す。
- ・ポリ袋に生ごみを入れ、底にたまった水分を角から穴を開けて絞る。
- ・ビニール袋を使い一晩重石を乗せて袋の角はカットしている。

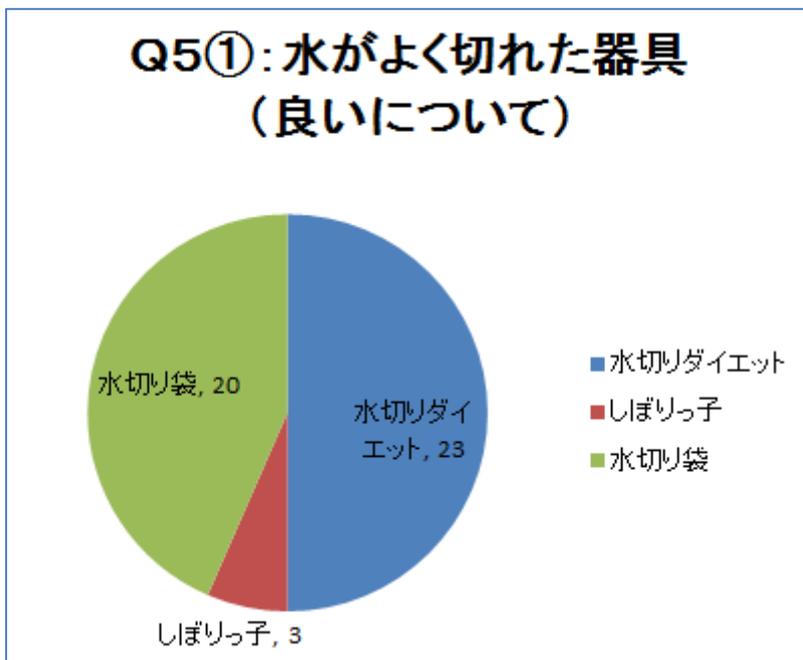
Q4: 生ごみの処分方法について



●その他について

- ・乾燥したものを畑に埋める。
- ・堆肥化のリサイクル団体への提供。
- ・お茶がら、コーヒーかすなどは庭に肥料としてまきます。
- ・数年間段ボールコンポストを行っていた。

Q5: 生ごみ絞り器(3種類)の使用感について



● 水切りダイエットについて

- ・(小さい)ネットに入っているので、手で絞れば後手を洗えば良い。
- ・ネットを強く引くと水が絞れた。器具と生ごみの量が合うと割合よく絞れた。
- ・押すだけでも OK でよい。
- ・何度も押すと水がよく切れる。
- ・水切りも多く出る。お茶がらやコーヒーかすは絞りやすい。

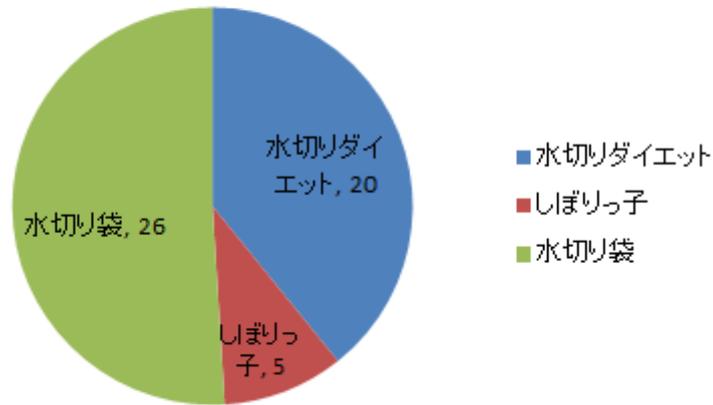
● しぼりっ子について

- ・ダンボールコンポストとの相性がよい。
- ・細かいものも絞りやすい。

● 水切り袋について

- ・ひと手間かけず自然に切れる。
- ・自立型で水に強くてよい。
- ・袋が水分を吸ってくれるのでその分良い。
- ・水切り袋を揉むので水分がよく出る。手が汚れるが手の力が直に伝わる。
- ・紙なので水切りしやすかった。

Q5②: 器具の使いやすさ (良いについて)



● 水切りダイエットについて

- ・ネットを引っ張るつくりがとても使いやすかった。よく絞れた。
- ・たくさん生ごみのあるときはいいと思う。
- ・よく絞れ、さっと洗えて小さいので置き場所にもよい。
- ・手を汚すこともなく扱いやすい。
- ・しぼりっ子と併用するとよい。

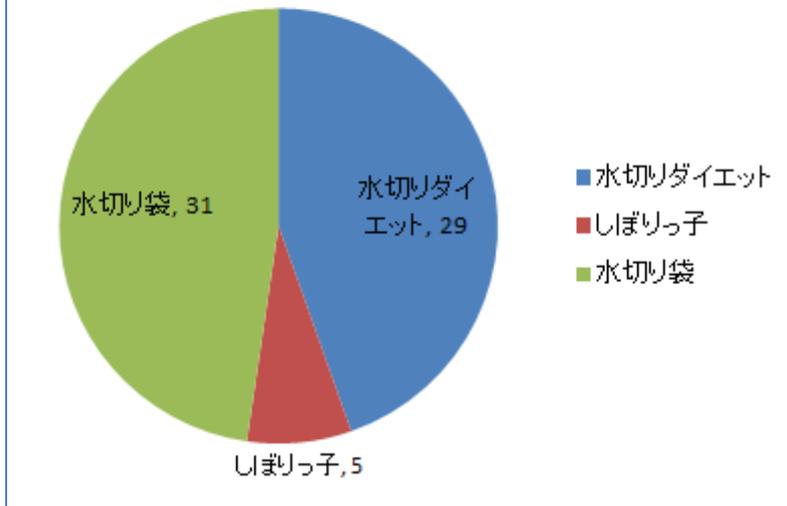
● しぼりっ子について

- ・片手で済むのがよい。
- ・通常の三角コーナーと違って取っ手がついていていい。
- ・水切りダイエットと併用するとよい。

● 水切り袋について

- ・使用後そのまま捨てられるよさがある。
- ・紙袋がしっかり立つので生ごみを入れやすい。
- ・紙が丈夫で破れず、ほとんど手が汚れなかった。
- ・設置しやすく、見た目もよく入れやすく、シンプルに使いやすかった。
- ・力が入りやすくOK。

Q5③: 良かったと思う器具



●水切りダイエットについて

- ・生ごみをしっかりと押しつぶすことができ、水分も出ているのを見て確認でき限界まで絞れた感じがするので良いと思う。
- ・手軽に使用できて一番絞れた。場所をとらずコンパクト。
- ・絞る力が入りやすいから。
- ・排水かごにつけた状態で押しつぶし、その後ネットのみを上から引っ張り水を切れたのでとてもよく水が切れたと思います。
- ・水切りネットとセットで使うと一番使いやすい。力もあまりいらぬ。

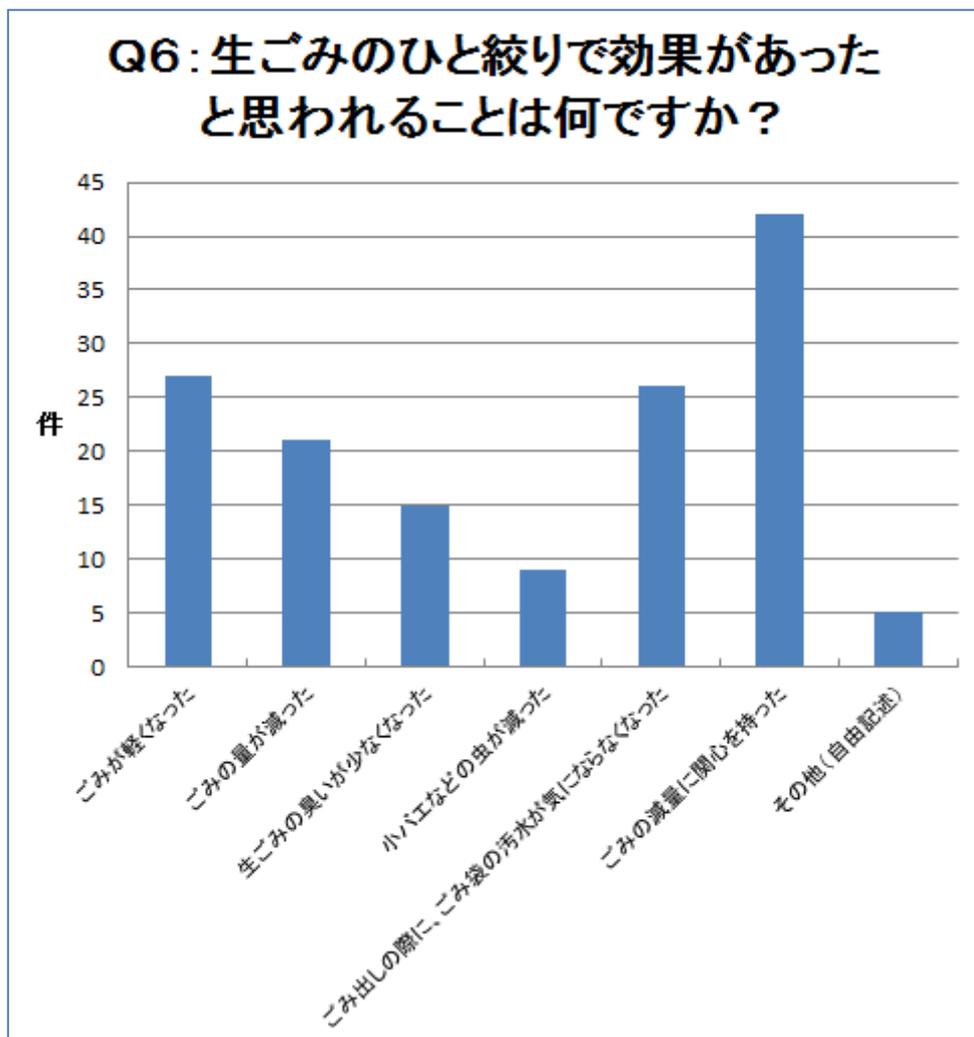
●しぼりっ子について

- ・取っ手がついているので、生ごみを処理するときに良い。(三角コーナーは直接触らなきゃでぬるぬるするのが手についたりしていやだったから。)
- ・生ごみをしぼりっ子に入れるので、ダンボールコンポストと相性がよかった。
- ・ごみがよくまとめられ、綺麗に捨てられる。

●水切り袋について

- ・入れ物自体が水を吸うし、やわらかく変形しやすいので使いやすい。
- ・女性の手で一番水を絞りやすいので負担が少なく継続しやすい。
- ・量が多くても対応でき、比較的よく絞ることができた。
- ・シンク内じゃなくてもどこでも置いて便利。
- ・ゴミを入れやすい。手を使ってしぼれるので良い。

Q6: 生ごみのひと絞りで効果があったと思われることについて



●その他について

- ・コーヒーのかす、麦茶を気をつけて肥料にするようになった。

Q7: 生ごみのひと絞りと減量について、アイデアや意見など

- ・三角コーナー等を利用して、水が切れてから袋に入れる。可能なら野菜くず等乾かしてからごみに出す。庭があるなら埋めるのが一番。
- ・常に冷蔵庫のチェックをして余分なものは買わない。捨てるものを少なくする。
- ・とても必要なことなので小学校の夏休みの宿題にして子供と若い親の方に意識してもらいたい。生ごみは堆肥にするなど燃やさなくてよい方法へ。コーヒーかす、茶殻などはそのまま肥料にする。
- ・もともと水分を切ってから捨てていたので、ごみの重さが大きく減ったという感じはしなかったが、実際に計量してみて、積み上げたことによって、総排出量に関心を持つことができた。冷蔵庫内の食品を腐らせる前に食べきるのが、一番減量につながると思う。

・緑茶、紅茶、麦茶など新聞紙の上で乾燥させてから捨てておりましたが、今年は子供が自由研究でダンボールコンポストを作りましたので捨てずに多いに活用しております。

・ダンボールコンポストを勧めるときに水切りの重要性も教えていく。

・生ごみが新しいうちは水分が出にくい腐敗すると水分化するのので早く処理するのが良い。

・食品パック(いちごや豆腐)に新聞紙をしいて水切るだけでもゴミが軽くなり、ごみ出しが楽になります。シンクの上に置けば、シンク内も広く使えるし、臭いもほとんどなくなります。夏場はスイカなど果物の皮は外に並べておくだけでもものすごく小さく軽くなります。

・自分で行っている方法がやはりコスト面でも、手間等を考えても一番良い。スーパーで買い物したときに入れるビニール袋に生ごみを入れ上の口を縛る。時間を置き、そこにたまった水分を出すため角を切り、水分を出し絞る。

・三角コーナーに生ごみを入れず、野菜くず、果物の皮などは皮をむきそのままゴミ箱に入れる。水で濡らさないようにする。

・生ごみの減量は重さと容量の両方を考えていく必要がある。生ごみを圧縮する機能をもった器具があればよいのではないのでしょうか。

・水切りかごを利用し遠心力利用。

・水切りネットに入れた生ごみを新聞紙に包み上から押さえて水分を吸わせる。新聞紙がぬれなくなるまで2〜3回繰り返してビニール袋に入れる

・普段やっていることは冬場はコンポストで堆肥作り。お茶殻は時々 畳掃除等に作用。新聞紙で包みゴミに出すこと等やっております。

・料理をするのになるべく捨てる部分が出ないようにするのが理想。また食べ残しが出ないようにすることが大切。

・天日に干す。ダンボールコンポスト。コーヒーかすは脱臭剤として再利用できる。

・水分を減らすことによりどのくらいのエネルギーが助かるのか子供たちに教育したほうがよい。若い親子さんに関心を持ってもらうため、親子で取り組む夏休みの宿題にしても。リサイクル・リユース・エコロジーに関心を持つチャンス。

・水切りネットを水のかからない場所に設置した三角コーナーに使用し、捨てる前に手で軽く絞る方法が一番水分を減少できた。野菜や果物の皮は新聞紙などの上で剥き、水分を取ってから捨てる。

Q8: 今回本市が配布した生ごみ絞り器以外に使用している器具等があれば、その使い勝手についての感想。

・新聞紙。水分を吸わせるので水切り袋と同じ感じです。

・今回、いただいた中に入っていたストッキングの水切り袋はとても良いと思いました。うちのようにゴミの量の少ない家にはぴったりです。

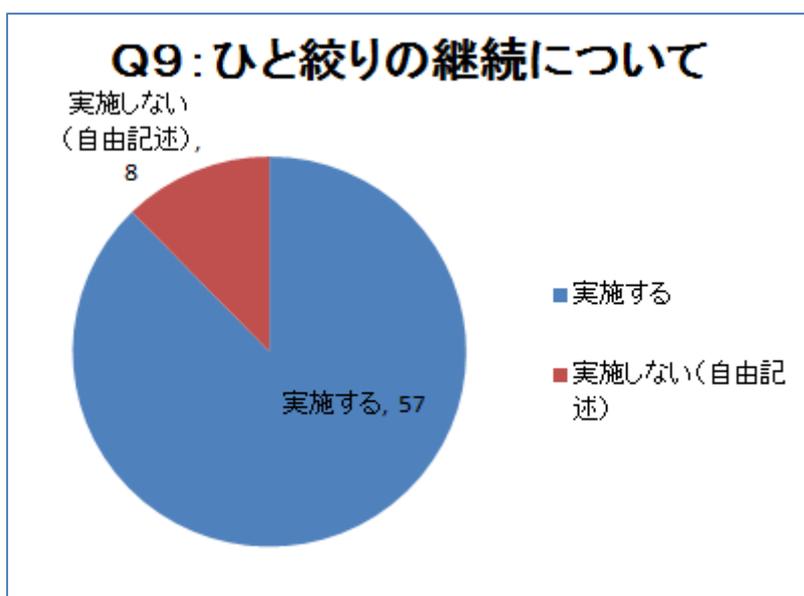
・不織布素材の水切り袋を使用。不織布素材はすぐに水が切れる。

・今回ひと絞りではなく、干した後の重さをはかりましたが、予想外に軽くなっているのにびっくりし

ました。

- ・新聞紙やチラシの上に野菜くず、果物の皮を捨て包んで捨てる。
- ・スーパーの袋が一番よい。両手で力いっぱい絞ってあとは持ち手を縛りゴミにポイです。
- ・スーパーの袋等に生ごみを入れ角を切り水を切って袋を2重にして捨てることもある。お金も手間もかからない。
- ・新聞紙に水分を吸わせる。生協で回収してくださる生ごみのリサイクル(肥料になる)を利用している。
- ・広告や新聞紙で水気を吸いストッキングでよく絞ると水分が大分減量できると思います。
- ・野菜の多く出るゴミは別のビニール袋に先にいれ、水分の多く出るものはネットを排水口にして、絞ってビニール袋へ入れる。
- ・新聞の折り込みチラシを箱形に折って生ごみを入れると野菜の水分が吸収される。

Q9:モニター終了後も「生ごみのひと絞り」を実施するか。



●実施しない理由について

- ・器具が3点とも使いにくいから。コンポストに入れる。
- ・思ったより効果が出なかったから。
- ・生ごみのひと絞りではなく、ダンボールコンポストに投入しているため焼却に出す必要がありません。
- ・コンポストを使用しているため。絞りの減量に目に見えて成果がなかったから。
- ・時間がないので水切りネットが一番です。

4．総括

4-1 調査結果より

今回の調査結果では、水切り器具を使用することで約8%の減量効果の期待が確認された。

また、多くのモニターの方が既に独自の方法で生ごみのひと絞り等を実践していた。特に、自然に水分を切れる水切りカゴやスーパー等のビニール袋による水切り、新聞紙やチラシに水分を吸着させる等比較的手軽に出来る方法が多く、関心の高さが伺えた。

また、近年本市でも普及啓発に力を入れている、コンポストやダンボールコンポストの利用も確認され、生ごみを可燃ごみとして排出せず、堆肥として循環する方法に取り組まれている方もおり、ひと絞り以上の取り組みをされていることが判明した。

4-2 今後の課題等

今回の調査では、主に各器具の使い勝手やひと絞り効果について回答いただくことで、生ごみのひと絞りへの関心と、減少率を認識し、さらなるごみの減量化施策への第一歩として位置付けている。今後も、多くの市民の方にひと絞り器具の効果について理解を深めていただき、ごみ減量意識をお持ちいただくとともに、コンポスト等の堆肥化を行える環境にある方への普及啓発に努める必要がある。